

草津市都市計画マスタープラン策定委員会 会議録

■日時：

令和8年8月6日（木）15時00分～16時30分

■場所：

草津市役所5階 502会議室

■出席委員：

井口委員、北村委員、肥塚委員、小島委員、塚口委員、中谷委員、福井委員、八木委員

■欠席委員：

塩見委員

■事務局：

辻川副市長

都市計画部 一浦部長、山岡総括副部長

都市計画課 山根課長、宇野課長補佐、菅野専門員、兎部主査、齋木主事

企業立地推進室 中嶋係長

■傍聴者：

0名

1. 開会

- 開会にあたって、辻川副市長より挨拶

2. 委員紹介、事務局紹介

- 名簿に基づき委員の紹介
- 事務局職員紹介

3. 委員長、副委員長の選任について

- 草津市附属機関運営規則第4条第1項、同条第3項の規定により、委員長および副委員長を選任。事務局に一任の声があり、委員長に塚口委員、副委員長に肥塚委員を推薦し、委員一同の了承の上、選任。

- 草津市附属機関運営規則第4条第6項の規定により、職務代理者の指名（塩見委員）

4. 諮問について

- 辻川副市長より塚口委員長へ諮問書手交

草津市附属機関運営規則第5条第2項の規定により、議事進行を委員長に依頼。

5. 「草津市都市計画マスタープラン」及び「草津市立地適正化計画」の一部改定方針について

- 事務局

＜資料3について説明＞

- 委員

スケジュールの記載について年度で整理した方が分かりやすいのではないか。

- 事務局

次回までに修正する。

- 委員

特定業務施設等誘導地区は都市機能誘導区域を定めている草津駅と南草津駅のどちらで考えているのか。

- 事務局

現時点では草津駅周辺において警察署跡地を対象に検討している。草津駅については広域的な拠点としての価値向上を目指した取組として広域的な立地適正化の取組を進めている背景があり、草津駅に特定業務施設等誘導地区を位置付けることで駅及び地域全体の付加価値向上を図りたいと考えている。

- 委員

南草津駅周辺の東西方向の交通網が現在も交通混雑が見られる点についてどう考えるか。

- 事務局

大江霊仙寺線から平野南笠線を経て大津湖南幹線へつながるネットワークの形成を進めるとともに滋賀県には山手幹線から国道1号までの区間の整備を進めていただきたいと考える。地権者のご協力が必要であるが一定の時間を要することや、交通利便性の向上を求めご意見がある一方で駅前空間の緑や景観を重視するご意見もあるため、バランスを図りながら課題の整理、必要な施策の検討を進めていきたいと考える。

- 委員

農業委員会では、近年は農地の担い手をどう引き継いでいくかが大きな課題であり、本計

画においても農業との共存を十分に考えていく必要があると考える。

○委員

第2回策定委員会は12月頃を予定されているが、12月の県への区域区分定期見直しの素案提出の前に、可能であれば11月頃を開催することはできないのか。

●事務局

第2回策定委員会は11月で日程調整し、開催を検討する。

6. 閉会

●閉会にあたって、一浦部長より挨拶

以上。